

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	商業簿記 1 (Commercial Bookkeeping 1) 2037-3-23-113					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
商業簿記 1・2 では、1 年次配当の簿記入門の知識を前提とし、商品売買業およびサービス業における高度な簿記を学ぶ。特に商業簿記 1 では日常の取引に関する仕訳を中心に学ぶ。本講義は事務・経理職を目指すために必須の知識であり、日商簿記検定 2 級に対応する科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
スライド資料、レジュメ等は Google Classroom を通じて配布する。授業ではインプットが中心になる。アウトプット (問題演習) は復習として必ず行うこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「商業簿記 2」「工業簿記 1」「工業簿記 2」と共に履修することを強く推奨する。									
⑤ テキスト (教科書)									
滝澤ななみ(2023)『簿記の教科書 日商 2 級 商業簿記 (第 12 版)』TAC 出版 (出版予定) 滝澤ななみ(2023)『簿記の問題集 日商 2 級 商業簿記 (第 12 版)』TAC 出版 (出版予定)									
⑥ 参考図書・指定図書									
各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。									
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 日常の取引について本質的に理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。 (ii) 検定試験レベルの個別論点 (第 2 問相当) 問題を解くことができる。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日常の取引に関する仕訳	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答が6割に満たない
(ii) 個別論点の本質的理解	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答が6割に満たない
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 日常の取引に関する仕訳	50%	10%						60%
(ii) 個別論点の本質的理解	30%	10%						40%
(iii)								
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業はインプットが中心となるが、それでもできるだけ多くの問題（仕訳問題・個別論点問題）に触れられるようにし、本質的な理解が進むようにしたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス・3級の復習	簿記入門 1・2 の内容を復習しておくこと（電卓持参）	120分
2	株式の発行	予習：教科書 CH01 株式の発行について、簿記入門で学んだものとの違いを把握する（電卓持参） 復習：教科書 CH01 基本問題、問題集第1問対策	120分
3	剰余金の配当と処分	予習：教科書 CH02 準備金の積立てについて教科書の参考の章も含めて計算式を覚える。（電卓持参） 復習：教科書 CH02 基本問題、問題集第1問対策	120分
4	株主資本の計数変動・税金	予習：教科書 CH03、CH04 特に課税所得計算を理解する。（電卓持参） 復習：教科書 CH03、CH04 基本問題、問題集第1問対策	120分
5	商品売買	予習：教科書 CH05 売上原価の算定について、簿記入門の範囲を復習しておくこと。（電卓持参） 復習：教科書 CH05 基本問題、問題集第1問対策、第2問対策	120分
6	手形と電子記録債権（債務）等	予習：教科書 CH06 電子記録債権債務については3級の復習をする。手形の裏書・割引・不渡について理解する。（電卓持参） 復習：教科書 CH06 基本問題、問題集第1問対策	120分
7	銀行勘定調整表	予習：教科書 CH07 不一致の原因と当社の処理について理解する（電卓持参） 復習：教科書 CH07 基本問題、問題集第1問対策、第2問対策	120分
8	固定資産①（購入、減価償却、売却、買い換え）	予習：CH08 の該当箇所を良く読んでおく。特に定率法による減価償却について理解を進める。（電卓持参） 復習：教科書 CH08 基本問題、問題集第1問対策	120分
9	固定資産②（除却・廃棄、建設仮勘定、改良・修繕、滅失、固定資産管理台帳）	予習：CH08 の該当箇所を良く読んでおく。前回の復習も行い、固定資産の購入からてん末（売却等）までの一連の流れを掴めるようにする。（電卓持参） 復習：教科書 CH08 基本問題、問題集第1問対策、第2問対策	120分

10	リース取引	予習：教科書 CH09 リース取引の分類と処理方法を掴む。(電卓持参) 復習：教科書 CH09 基本問題、問題集第1問対策	120分
11	研究開発費と無形固定資産、有価証券①(購入と売却、配当金・利息の受取り)	予習：教科書 CH10・CH11 の該当箇所。有価証券の取得原価と平均単価の計算を理解する(電卓持参) 復習：教科書 CH10・CH11 基本問題、問題集第1問対策	120分
12	有価証券②(端数利息の処理、評価替え、償却原価法)	予習：教科書 CH11 の該当箇所。特に償却原価法の計算方法を理解しておく。(電卓持参) 復習：教科書 CH11 基本問題、問題集第1問対策、第2問対策	120分
13	引当金	予習：教科書 CH12 貸倒引当金の差額補充法について簿記入門の復習を行い、貸倒引当金以外の引当金についてどんなものがあるか理解しておく。(電卓持参) 復習：教科書 CH12 基本問題、問題集第1問対策	120分
14	サービス業の処理	予習：教科書 CH13 サービス業における取引と処理について一連の流れを把握しておく。(電卓持参) 復習：教科書 CH13 基本問題	120分
15	まとめ	予習・復習：教科書の基本問題、問題集の第1問対策、第2問対策を理解するまで解く。	120分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ALを採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性